

建設新聞



発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号
 総務部 4601
 FAX221-4633
 編集部 4602
 FAX217-4170
 編集事業部 4603
 FAX221-4637
 営業部 4604
 FAX268-6416
 編集事業部情報室 4606
 FAX221-4637

©建設新聞 2013

ミラクルソル協会

工法の積極活用と 技術向上を

技術講習会を開催

廃ガラスを多様な用途の建設資材に再生させる「ミラクルソル工法」の技術講習会が21日、仙台市の仙台国際センターで開かれた。主催したミラクルソル協会の原裕理事長は約160人の参加者を前に、「ミラクルソルは、軽量盛土材や緑化材など計28工法が開発され、国内外で注目を集めている。今回の講習会



原理事長

で技術力を高めてほしい」と述べ、同工法の積極的な活用と技術力の向上を呼び掛けた。

ミラクルソル工法は、ガラス廃材を原料に開発した新素材を環境土木や環境緑化、水環境といった幅広い分野に活用するもの。日本水大賞「未来開拓賞」をはじめとした各賞を受賞するとともに、テレビ・新聞といったメディアでも数多く取り上げられている。

21日の技術講習会で、原理事長が同工法の開発に取り組んだ理由について、「地球温暖化が進む中、環境への負荷を軽減するため建設業としてできることは何かを突き詰めた」と説明。また、「ミラクルソルは比重や吸水率の調整が可能であり、それによってさまざまな工法を生み出すことができる」と、同工法の特長をアピールした。

続いて、佐賀大学低平地沿岸海域研究センターの荒木宏之教授は、ミラクルソルを水質浄化に活用する研究成果を発表。

水の透視度改善や大腸菌・クロロフィルの除去などに極めて優秀な性能を示した点に言及した。特別講演では、東北地方整備局企画部の原田吉

信震災対策調整官が「東北の復興に向けて」と題し、東日本大震災で初期からこれまでの対応状況を説明した。